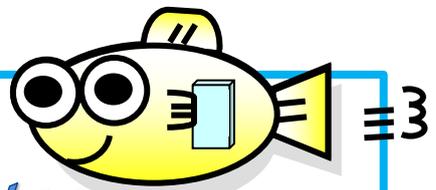


こがと通信 for teens

令和 4年 12月号

発行:久我のもり図書館



久我のもり図書館のティーンズコーナーでは、誰でもポップを書くことができます。

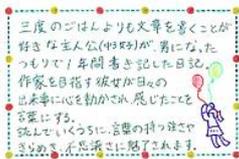
ポップとは、イラストや文でその本のおすすめポイントを表現し、まだその本を読んだ事がない人に、興味を持ってもらうための紹介文です。

今回のこがと通信では、そのポップを紹介します。

皆さん、こんにちは！
久我のもり図書館の
キャラクター
「こがと」です



こがと



タイトル 文豪中学生日記

著者名 小手鞠るい

久我のもり図書館 ティーンズ・コーナー

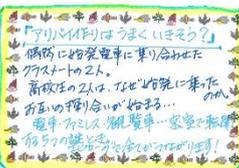
『文豪中学生日記』

小手鞠るい／著 あすなろ書房

【ポップ内容】

三度のごはんよりも文章を書くことが好きな主人公(中3女子)が、男になったつもりで1年間書き記した日記。

作家を目指す彼女が日々の出来事に心を動かされ、感じたことを言葉にする。読んでいくうちに、言葉の持つ強さやきらめき、不思議さに魅了されます。



タイトル 早朝始発の殺風景

著者名 青崎有吾

久我のもり図書館 ティーンズ・コーナー

『早朝始発の殺風景』

青崎有吾／著 集英社

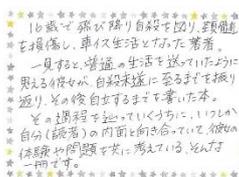
【ポップ内容】

「アリバイ作りはうまくいきそう？」

偶然に始発電車に乗り合わせたクラスメートの2人。

高校生の2人は、なぜ始発に乗ったのか。お互いの探り合いが始まる…

電車・ファミレス・観覧車…密室で転開する5つの謎解き。エピソードで全てが繋がります！



タイトル しにたい気持ちが消えるまで

著者名 豆塚エリ

久我のもり図書館 ティーンズ・コーナー

『しにたい気持ちが消えるまで』

豆塚エリ／著 三栄

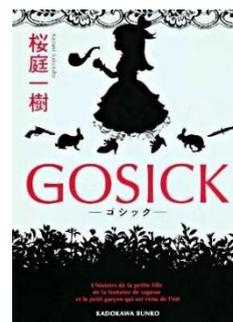
【ポップ内容】

16歳で飛び降り自殺を図り、頸髄を損傷し、車イス生活となった著者。

一見すると、普通の生活を送っていたように思える彼女が、自殺未遂に至るまでを振り返り、その後自立するまでを書いた本。その過程を辿っていくうちに、いつしか自分(読者)の内面と向き合っていて、彼女の体験や問題を共に考えている、そんな一冊です。



その他にも、ポップで紹介している本があります



『10代のうちに知っておきたい 折れない心の作り方』
水島広子／著
紀伊國屋書店

『ティーンズ・エッジ・ロックンロール』
熊谷達也／著
実業之日本社

『赤の他人だったら、どんなによかったか。』
吉野万理子／著
講談社

『GOSICK
—ゴシック—』
桜庭一樹／著
KADOKAWA

…その他多数！

ただ今ポップ大募集中です！手書きのポップには色々な気づきがあります。ぜひ、図書館でポップを手にとったり、気になる本を読んだりしてみてください。

今回ご紹介したポップは全て職員によるものですが、ティーンズコーナーに置いてあるポップのほとんどは、利用者の方に書いて頂きました。みなさんも自分のオススメの本をポップで紹介してみませんか？

ポップ記入専用用紙は、ティーンズコーナーの左寄りの棚に置いてあります。書けたら、カウンター横のピンクの箱に入れて下さいね。

久我のもり図書館



〒612-8494

京都市伏見区久我東町216

☎934-2306

休館日：火曜日（火曜日が祝日のときはその翌平日）、年末年始

開館時間：木曜日は11時30分～19時

月・水・金・土・日曜日、祝日は9時30分～17時

※年末年始は 12/29～1/4 の期間が休館日となります

※システム更新のため、1/31～2/9 の期間は全てのサービスを停止します。詳しくはHPまたはカウンターでお尋ね下さい。



1階：久我のもり図書館

ぜひ、来て下さいね♪

